



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第82期第2四半期の株主通信をお届けいたします。

今年度は「New DMW 中期経営計画」の最終年度となります。引き続き目標達成を目指すとともに、次期中期経営計画に向けての基盤作りを進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事業の概況

■受注状況

国内民需が順調に推移したものの、競争の激しい官需および円高により厳しい海外での受注が伸び悩んでいることから、受注総額は前年同期から減少し76億35百万円となりました。

■売上高・損益状況

売上高は、受注残が豊富であったことなどから前年同期から増加し61億44百万円を計上しました。利益面は、利益率の良い物件の売上があったことや経費の発生を抑制できたことにより改善し、営業損失は2億95百万円、経常損失は2億34百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億81百万円となりました。

なお、当社グループの売上高は、公共事業物件の割合が高いため連結会計年度末に集中する季節性を有しております。そのため、例年、第2四半期の売上高については、相対的に低い水準にとどまっております。

また、当期の中間配当は、1株につき普通配当25円（前期中間配当 普通配当20円、記念配当10円）としました。期末配当は昨年度と同じ1株につき普通配当30円を予定しております。

■通期の見通し

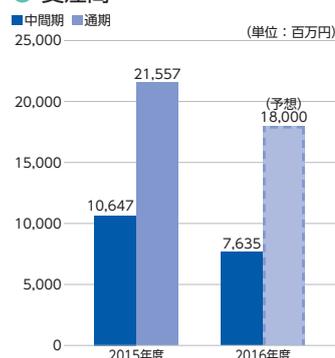
当社グループの受注については、海外向けは円高で受注環境が厳しいことから180億円と前回発表（2016年8月1日）予想に対して減少する見込みです。通期の業績予想に関しては、売上高187億円、営業利益11億60百万円、経常利益12億40百万円、親会社株主に帰属する当期純利益8億50百万円と前回予想と同じになる見込みです。



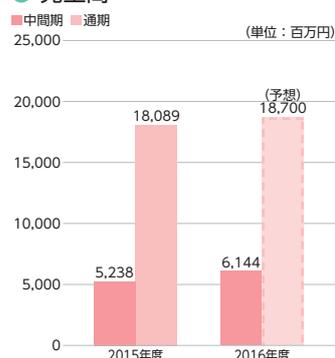
代表取締役社長 **土屋 忠博**

■ 連結財務ハイライト

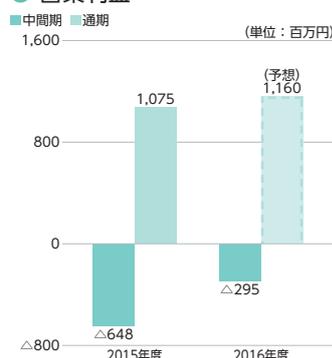
● 受注高



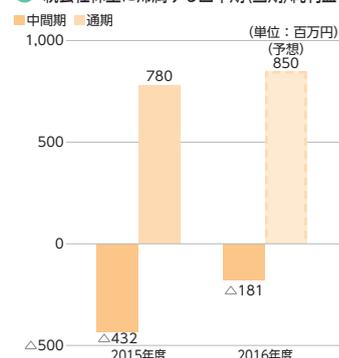
● 売上高



● 営業利益



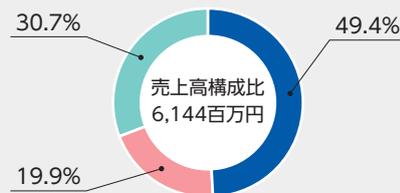
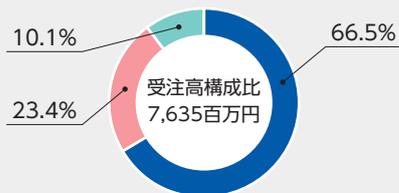
● 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益





部門別営業の状況

- 官需部門
- 国内民需部門
- 海外部門



官需部門



● 下水処理設備向けポンプ

受注高 **50億76**百万円
(前年同期比79.3%)

売上高 **30億38**百万円
(前年同期比99.6%)



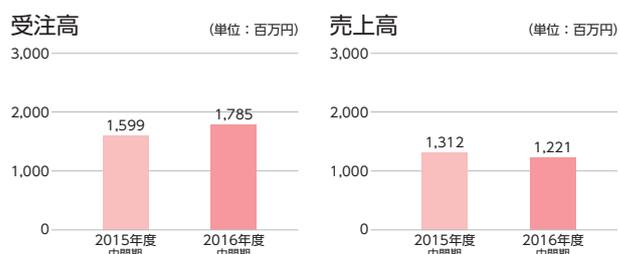
国内民需部門



● バイオマス発電所向け送風機

受注高 **17億85**百万円
(前年同期比111.6%)

売上高 **12億21**百万円
(前年同期比93.1%)



海外部門



● 石油掘削設備向けポンプ

受注高 **7億73**百万円
(前年同期比29.3%)

売上高 **18億84**百万円
(前年同期比214.7%)



PICK UP!

サウジアラビアの製油所向け硫黄回収用ブロウ

サウジアラビアの製油所向け硫黄回収用ブロウ8台をイタリアのエンジニアリング会社から受注しました。

同製油所は日量40万バレルの原油を精製し、主にガソリン、ディーゼル燃料等の石油製品の生産を目的としています。建設地Jazanは、イエメン国境に近いサウジアラビア南西部の紅海沿岸に位置しています。

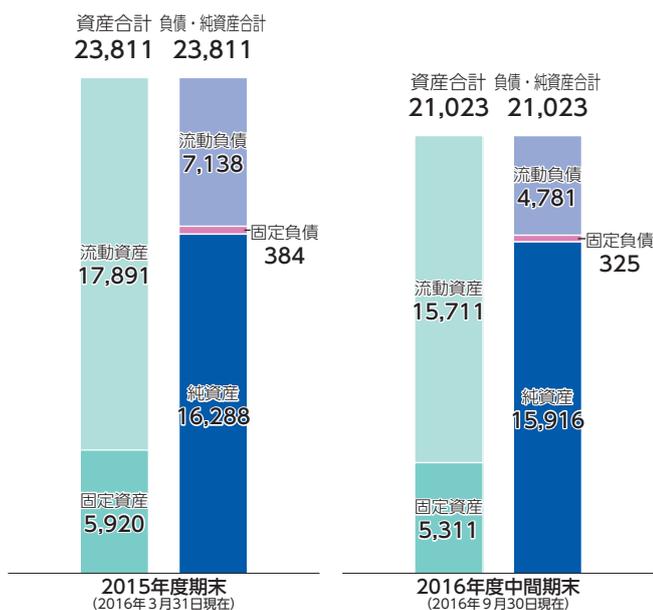
当社ブロウは、原油を脱硫処理する装置の反応炉に高圧の空気を送るために使用されるもので、当社実績最大クラス（口径900mm×800mm／出力1,450kW）となっています。



当社が納入する硫黄回収用ブロウ

● 貸借対照表

(単位：百万円)



● キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	2015年度中間期 (2015年4月1日から 2015年9月30日まで)	2016年度中間期 (2016年4月1日から 2016年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,325	△437
投資活動によるキャッシュ・フロー	△581	△68
財務活動によるキャッシュ・フロー	△139	△134
現金及び現金同等物に係る換算差額	△55	△37
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	548	△678
現金及び現金同等物の期首残高	5,194	4,187
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,743	3,508

● 損益計算書

(単位：百万円)

科目	2015年度中間期 (2015年4月1日から 2015年9月30日まで)	2016年度中間期 (2016年4月1日から 2016年9月30日まで)
売上高	5,238	6,144
売上原価	4,490	5,021
売上総利益	748	1,122
販売費及び一般管理費	1,397	1,418
営業損失(△)	△648	△295
営業外収益	83	83
受取利息	3	5
受取配当金	36	36
受取賃貸料	35	35
その他	7	6
営業外費用	24	22
賃貸費用	9	8
その他	15	13
経常損失(△)	△589	△234
税金等調整前四半期純損失(△)	△589	△234
法人税、住民税及び事業税	2	5
法人税等調整額	△158	△58
四半期純損失(△)	△432	△181
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△432	△181

DMWインド社インド工場建設 順調に進行中

海外市場での受注拡大に向けて、当社グループ初の海外生産拠点となるインド工場の建設を進めています。

現在、基礎工事を終えて建屋の建設が順調に進んでおり、2017年度から稼働予定です。

当工場では、当面、インドや中東の顧客から要望されている安価な小型APIポンプを生産し、高圧多段ポンプとセットにして販売していきます。



建設中のインド工場 (2016年9月時点)



工場完成予想図



会社の概況／株式の状況 (2016年9月30日現在)

会社概要

- 商号 株式会社 電業社機械製作所 (DMW CORPORATION)
- 所在地 東京都大田区大森北一丁目5番1号 〒143-8558 TEL 03 (3298) 5115
- 資本金 810,000千円
- グループ従業員数 623名 (うち契約社員98名、パートタイマー30名)

取締役、執行役員及び監査役

代表取締役社長	土屋忠博
最高執行役員社長	土屋忠博
取締役	浅見幸男
取締役	彦坂典男
取締役	村林秀晃
取締役	杉谷恒也
取締役	杉山博司
取締役	上地崇夫
取締役	鯉沼博行
取締役	浜田耕一
取締役	稲垣晃
取締役	青山匡志
監査役	塩崎孝
監査役	住田知正
監査役	多田修

ホームページのご案内

最新のIR情報につきましては、当社のホームページ「IR情報」をご参照ください。

当社ホームページ <http://www.dmw.co.jp/>

株主メモ

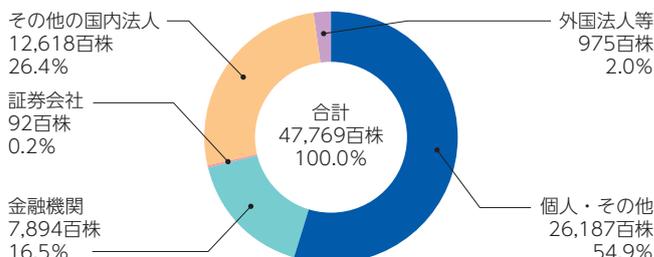
- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 期末配当金受領株主確定日 毎年3月31日
- 中間配当金受領株主確定日 毎年9月30日
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 公告の方法 電子公告より行う
公告掲載ホームページ <http://www.dmw.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株式の状況

- 発行可能株式総数 19,107,600株
- 発行済株式の総数 4,776,900株
- 株主数 3,010名

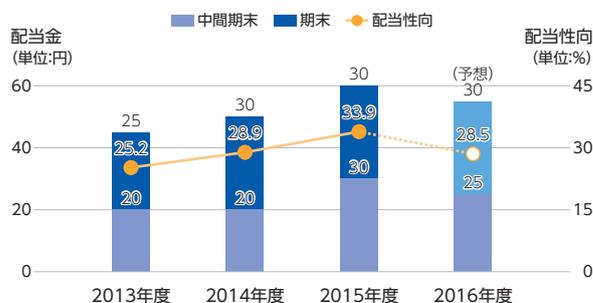
株主構成

所有者別持株比率



(注) 自己株式は「個人・その他」に含めて表記しています。

1株当たり配当金／配当性向



(注) 2015年度中間期末配当金の内訳 普通配当20円、記念配当10円

株価の推移



(各種手続き先)

1. 株式に関する各種手続き (住所・氏名の変更、配当金振込口座の指定・変更、単元未満株式の買取請求等) につきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできません。
2. 株券電子化に伴う証券会社等の口座への振替手続きがお済みでない株式 (特別口座に記録された株式) に関する各種手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 銀行取扱い期間終了後の未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

(表紙の写真について)

(手前) RO (逆浸透) 法海水淡水化プラント向けエネルギー回収システム (奥) RO膜に海水を供給する高圧ポンプ

